

方言の葉 索引

1	とばん	とどかぬ
2	てろ	とか
3	しわんつ	けちんぼ
4	クド	かまど
5	どりしこでん	どれだけでも
6	吊りこじょうけ	吊りかご
7	そげなこつばし	そんなことでも
8	てん、でん	やら、でも
9	行くとじゃん	行くのだ
10	景色だん	けしきなど
11	四間だん	四間ほど
12	あつつろか	あつただろうか
13	じゃり	だろうか
14	でちしたり	としたり
15	そりけん	それだから
16	なっとりよつた	なっていた
17	ありよつた	あつた
18	あつとってん	あつていても
19	そげな	そんな
20	そげん	そんなに
21	ごたつと、ごたる	様なもの、様だ
22	どつとが	でいるのが
23	そりば	それを
24	ほげて	穿つて
25	あたでおろたえて	にわかにあわてて
26	いっちょ	一つ
27	みんながっせ	全部、みんな
28	にきに	辺りに
29	そっでじゃつたろたいの	そうであったからだろう
30	と一きな	まれに、ときには
31	もんじゃけん	ものだから
32	ごーほん	たくさん、たいへん
33	おかちん	お餅
34	くりへばし	繰り合い、栗の枝で作った正月用の箸
35	お直会 (おのれ)	神事のあとで酒を戴く行事

36	おいりよった おいった おいった	お行きになっていた お入っ（来）た お嫁に来た、行った
37	ときよった	といた
38	ねぎだれ	家ののき先の下の地面
39	おろうで	叫んで
40	どんば	どもを
41	どげんしたっちゃ	どんなにしても
42	腹かきよった	腹立てゝいた
43	おみる	熟みる
44	げなりゃ	そうなところが
45	せからしか	面倒、いそがしい、うるさい
46	かたった	加わった（加擔）
47	さるき	歩るき
48	こんだ	今度は
49	ソーラちばかり	ソレとばかり
50	いかじゃった	いけなかった、不成功であった
51	いしい言うて	さあさあ云ってはげむさま
52	小若者	こわけもん、現在の中学程の男子
53	突っからかして	突き刺して
54	おろ甘かった	少し甘かった、あまり甘くなかった
55	わたまし	落慶式の記念行事
56	ねまる	腐る
57	かしのきた	しめり気の来た
58	おすけられ	ください、仰せ付けられの転化、 仰し付けられ～おすけられ
59	もつとつと	ねんごろに、丁寧
60	打ったくって	たくっては打つを強調する語
61	よのよーして	夜通して
62	ひとたかしやぎって	しばらく、はやして
63	むご	上手に
64	もやわんと	一緒にしないと、協同しないと
65	ガラス写真	初期の写真ガラス板に印画したもの
66	やらんろ	やらないか
67	ぐぜり	ぐず（愚図）り
68	口にくじ	にくまれぐち
69	そうに	たいへん

70	えすか	恐ろしい
71	まっで	まるで
72	よさり	夜
73	とつくっと	届けると、云い付けると、告げ口
74	なし	なぜ
75	しかとうんなか	然としたこと（大したこと）でない
76	そぎゃんこつ	そんなこと
77	すらごつ	空（そら）ごと、うそ
78	どーこん	どこにも
79	こげん	こんな、こう
80	打ち抜き	座敷窄
81	だりゃいらんにゃ	誰にでもには
82	長めご	短形の横長い竹かご
83	どーんなかった	何ともなかった
84	来たところじゃった	来たところであった
85	しよらじゃった	してはいなかった
86	見らさい	見よ
87	そんに	それに
88	何時いらん	何時でも、不時に
89	いきますめーもん	いけないでしょう
90	えっさえっさ	恐わ恐わ
91	ギシギシの芽	すかんぼの芽
92	のつ	の物
93	いつまっちゃなし	いつ迄とはなく、限りなし
94	大まんげ	大まか
95	はねごし	貰いもんを他に贈ること
96	いんがっと	几帳面、厳めしい
97	ゆんなり	だ円形（弓なり）
98	何きろん	何や彼や、いろいろ
99	云わりよった	云って居た
100	使はさんな、さい	使うな、使え
101	さゆる	囀る
102	ばさろー	たくさん
103	ぎすとん	びくとも、微動も
104	おろよか	あまりよくない
105	こつとしたもんが	こととしたら・・・(大変だった)の意
106	せつかん	寄りつかぬ

107	まぜくり	まぜ返す、邪魔する
108	じゃの	やら、など
109	とけ	ところに、のに
110	ちった	少し、わずか
111	とろの	ていようか
112	おらった	居た
113	来よらる	来ている
114	掛けらった	掛けた
115	せらっと、せらる	すると、する
116	おろー	おやまあー
117	出さって	出して
118	いつまっちゃ	いつ迄とは
119	しよらった	していた
120	仕舞わった	仕舞った
121	せらったけんち	したからと
122	悔やまる	悔やむ
123	来らります	来ます
124	焼けち	焼けて
125	寄っとろがない	寄っているではないか
126	云わり	云い
127	あのわったち	あの我(わっ)達、男、女使用人達
128	炊かった	炊いた
129	あるき	里帰り
130	とんと	すっかり
131	上妻め(こうづめ)	上妻に
132	習わし	習え
133	いね出さる	荷ない出さる
134	ふご	藁編みの運搬用具
135	ねこぶく	藁で作った農作業用の蓆
136	つし	屋根裏農業用倉庫
137	はなは	最初は、端は
138	角うち	枡の角から酒を呑む
139	てろん	とか
140	いきにゃ	勢いには、はずみに
141	どんこん	っどうにもこうにも
142	ねーごっ	何ごと
143	火なおらび	火がついた様に叫ぶ

144	死んげん目	死にそうな目
145	目トンボ返す	目をトボのようにクルルさせて驚く事
146	ふうえ	ふり、風態
147	くろつ	暗いうち
148	笑うめでち	笑うまいと
149	ふとか目	ひどい目、痛い目
150	跡んほろけん	跡の気配も、跡も形も
151	あろうでちしょった	あろうとしていた
152	さぶた	灌漑用の堰板
153	図知り	事情に明るい
154	なんない	なんだと？
155	たてがう	からかう
156	どうろこうろ	どうやらこうやら
157	なりたがりよらじった	なりたがってはいなかった
158	たぐれ上って	驚いて前後を忘れて
159	放うからかし	放り出して
160	ケシケシぼんさん	ケシの種様の幼児の髪型
161	段ろ	沙汰か
162	うっいとる	うつ伏している
163	ならんでばし	ならないでも
164	仕舞える	終る、死ぬ、最後
165	投げ足	二次会三次会・・・
166	夜さんの	夜の
167	けしね臼	粳つき臼(木製)
168	半斗瓶かぶる	留守番をする
169	あなまたぐされ	指の股の皮膚病
170	つんぐり返し	折り返し
171	横ぞに	横に
172	しゃっち	ぜひ、必ず
173	どうしてん	どうしても
174	さっからくら	さき程から
175	腕ぶつくら	ふところ手
176	げなつに	そうなのに
177	日田金	藩政時代の日田の豪商からの借入金
178	手おうざおう	右往左往
179	いぐり	藁で編んだ飯櫃の保温具
180	焼けももくりん	焼けこげ

181	しゆるしかった	辛かった、難儀であった
182	力んこうけん	力も何も
183	とちれて	まごついて
184	何時のばぜ	何時の間
185	けそけそ	そわそわ
186	青すたん	青びょうたん
187	気の引っからがった	気の引きあがった
188	ほんにほんに	ほんとにほんとに
189	きつうなって	ひどくなって、貧窮に成って
190	よくせき	よっぽど
191	げしねがめ	穀物入れる大瓶
